

＜日本双生児研究学会 第38回学術講演会のご案内＞

大会委員長 京都大学 高橋雄介

第38回学術講演会は京都にて対面実施いたします。昨今の学会開催はほとんどのケースで対面実施へと切り替わりつつあります。オンライン開催やハイブリッド開催のメリットは非常に大きいということはこの4年間私たちは身に沁みて理解して参りました。しかしながら一方で、対面実施の重要性もよく理解することができました。開催地へ移動し、会場という現場で研究報告を聴き、その場で互いの顔を見ながら議論するというこれまでに私たちが当たり前のように行ってきたことの重要性です。第1回からの開催記録を確認いたしましたが、京都での開催は初めてのようです。京都の冬は底冷えと形容され、有名な文学作品などでも度々取り上げられるような寒さだそうです。当日現地では、熱く活発な議論が行われることを切に願っております。会場となる本学・楽友（らくゆう）会館は1998年に国の登録有形文化財に指定されており、室内の様子も大正建築の特徴をよく伝え残す建物です。

1. 日程、開催方法、企画、大会長、事務局

- 1) 日程: 2024年1月27日（土）9時30分～16時30分（予定）
- 2) 場所: 京都大学 楽友会館 2階会議・講演室（アクセスの詳細は下記の参照のこと）
- 3) 開催方法: 対面実施（ハイブリッド形式等の予定はありません）
- 4) 企画: 村井俊哉先生（京都大学大学院医学研究科）からは、精神疾患の遺伝・環境要因に関して臨床医のお立場からご議論をいただき、山本奈津子先生（大阪大学データビリティフロンティア機構）からは、ゲノム情報などの医療や健康に関するパーソナルデータの保護と利活用についてご報告をいただくことを予定しています。
- 5) 大会長兼事務局長 高橋雄介（京都大学）

【会場】京都大学 楽友会館（〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町）

- 会場へのアクセスは、<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/facilities/campus/rakuyu/access> をご確認ください。
- 会場出ですぐのところにコンビニエンスストアがあります。また、週末に営業している飲食店は少ないことをどうかご承知おきください（googlemapsなどでご確認ください）。京都駅などでランチを調達したうえで来学されることも一案です。

2. 参加資格および参加費

- 1) 日本双生児研究学会会員の他、非会員、学生も参加できます。
- 2) 参加費: 2,000円（多胎家庭の方 500円（資料代として）） 当日徴収いたします。
- 3) 情報交換会: 飲食を伴う懇親会は実施いたしません。会場は17時まで使用可能です。短い時間とはなりますが情報交換の場としてご利用ください。

3. 演題申込の方法と抄録集掲載原稿の送付

1) 大会開催方法

- 発表や質疑応答を希望する方は会場にてご参加ください。

2) 演題申込

- 学術講演会の発表を希望される方は、演題名・発表者名・発表者全員の所属・発表要旨(600～1000字程度)を A4 用紙 1 枚にまとめ、PDF 形式にしたうえで E メールに添付し、下記お問い合わせ先に記したメールアドレスに送信してください。この要旨原稿は、原則としてそのまま抄録集の印刷用原稿として用います。
- 添付ファイル名は、“JSTS38_あなたの姓名.pdf” (例: “JSTS38_takahashiyusuke.pdf”)としてください。
- メール の 件名 は 添付ファイルと同様にしてください (例: “JSTS38_takahashiyusuke”)。

3) 演題締め切り: 2023 年 11 月 26 日 (日)

4. お問い合わせ先

メールアドレス: takahashi.yusuke.3n@kyoto-u.ac.jp (高橋雄介)

(作成例) 表題 (文字サイズは 14 ポイント)

20mm

双生児 花子¹・双生児 太郎² (文字サイズは 10.5 ポイント)

¹△△△大学・²〇〇〇会 (文字サイズは 9 ポイント)

(一行あける)

※本文はここから記入

用紙は、上下 20mm、左右 20mm の余白をとる。

本文の文字サイズは 10.5 ポイント

和文フォントは明朝体で全角、英文およびアラビア数字は半角 としてください。

可能であればI目的・II方法・III結果・IV考察・V結論別にまとめてください。ただし、I~Vのような項目分けが難しければ、それ以外でも可。

20mm

カラー印刷は不可とします。

20mm

20mm